

令和7年度 単P会長研修会並びに定期総会開催

令和7年7月5日(土) 単P会長研修会並びに定期総会が高知会館において開催されました。

まず、単P会長の取組み等の発表に先立ち、県教育委員会の各課より所管説明がありました。内容等は以下のとおりです。

- 1 学校安全対策課（自転車運転における交通安全教育の推進について）
- 2 高等学校課（高知県の県立高等学校の現状と取組について）
- 3 特別支援教育課（特別支援学校におけるICTを活用した教育の実践力向上事業について）
- 4 人権教育・児童生徒課（インターネット等の利用時間について）
- 5 生涯学習課（令和7年度のPTA関連事業について）



単P会長研修会

7年度の幹事校

東部地区 城山高校
高知地区 高知東高校
高吾地区 檮原高校
幡多地区 大方高校
特別支援部 高知若草特別支援学校

続いて本年度の各地区幹事校単P会長からPTA活動の取組み等についての概要発表がありました。年度末には改めて各校から本年度の活動の具体的な取組みや成果にが発表される予定です。

単P会長研修会の後、同会場において参加者94名の出席を得て高P連総会が開催されました。佐竹会長の挨拶の後、今城県教育長より祝辞を頂戴して開会行事が終了しました。

その後議長選出により議事に入り、令和6年度事業報告、会計決算・監査報告を経て役員改選が行われました。引き続き令和7年度事業活動方針、予算案が審議され承認をされました。総会后、高P連役員より学校食堂に関する調査結果（中間報告）と今後の取組みについて報告がありました。



定期定期総会の様子

議事の項目

- 第1号議案 令和6年度事業報告
- 第2号議案 令和6年度会計決算報告
- 第3号議案 令和7年度役員改選
- 第4号議案 令和7年度事業活動方針等（案）
- 第5号議案 令和7年度会計予算(案)

第67回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会
～神話の郷に集う縁～新時代を生き抜く力を～

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会が令和7年7月11日(金)くにびきメッセにおいて、地区内の9県より会員および大会関係者を含め約1,100名が一堂に会し開催されました。高知県からは73名が参加しました。



開会式では原実行委員長の挨拶に続き、全国高P連の田名部智之会長のメッセージを伊福聡副会長が代読した後、野津建二島根県教育長の挨拶、丸山達也島根県知事代行、上定昭仁松江市長代行からご祝辞をいただきました。

その後、「ITから生まれる人の幸せとは何か？」と題してメカニックデザイナーの山根公利氏に講演いただきました。講演では、①ITとは何か ②島根→東京→島根 移住生活の現在まで ③メカニックデザイナーという仕事とAIとの今後 という3つの視点から話が展開し、故郷の文化をもとにした想像力や子供時代に吸収したことが現在の仕事に大きく結びついているように感じました

昼食時の休憩時間には、会場ロビーにおいて県内4校の高校生による生産・加工物等の販売が行われ、完売状態の盛況ぶりでした。

午後からは高校生による活動発表が行なわれました。浜田商業高校、皆美が丘高校、出雲農林高校からダンスや太鼓の若さ溢れる演技がおこなわれました。中でも浜田商業高校郷土芸能部による「石見神楽」は圧巻の迫力がありました。



お弁当はこんな感じ

引き続き研究協議が行われ、3つの研究発表をもとに質問や活発な意見交換がありました。最初は、金光学園中学・高等学校のやつなみ保護者会長藤井秀和さんが「子とともに育つ～金光学園やつなみ保護者会の歩み～」と題して発表されました。岡山県の中高一貫校における保護者会の組織づくりや運営にかかわる取組発表でした。

次に愛媛県立今治東中等教育学校 PTA 会長ピアース恵利さんが、「生徒の夢を支えるPTAの役割～教職員との連携による6年間の教育支援～」と題して発表されました。組織づくりやPTA活動を進める中で、学校行事等にも積極的にかかわり保護者が学校や子供を支える意気込みが伝わってきました。教職員との懇親会、県立中等学校3校連絡協議会、生徒会との座談会および防災訓練を通して教職員や保護者同士の交流に力を入れる意気込みが伝わってきました。



最後は、島根県立隠岐高等学校PTA会長鳥井登さんが「人情の島が創る隠岐高校～地域が育む高校魅力化～」と題して発表されました。隠岐高校は島根県沖にある隠岐の島にある創立113年目となる高校で、自然の豊かさやユネスコ世界ジオパークを題材にした学校設定科目が特徴で県外からの受入も積極的に行われています。学校周辺は想像以上に便利という言葉に予想を裏切られました。高校卒業後はほとんどが島を離れるため、島の担い手を育成する場所として地域や高校が大きな使命を持っているように感じました。

全体を通して新たな学びを共有できた時間となりました。機会があれば、多くの皆さんに参加していただきたいと思います。



第 74 回 全国高等学校 P T A 連合会大会 三重大会

出会い始まる常若の国 ～「集い、想い、維ぐ」三つの重なる明日への力～

第 74 回全国高等学校 P T A 連合会大会三重大会が津市産業・スポーツセンターにおいて 8 月 21・22 日の両日開催されました。会場周囲は田園風景が広がり、1 カ所で 4 分科会が開催できる巨大なアリーナで、参加者は 6,000 人を越えています。高知県からはツアー参加が 22 名、個別参加を合わせると合計 33 名の参加でした。



全体会の様子

全体会の開会行事に続き、表彰式が行われ高知県からは個人 2 名と 2 団体が表彰を受けました。全体会終了後、移動の時間をはさみ 4 つの分科会が行われました。

全国高等学校 P T A 連合会会長表彰
個人

式地一豊 高知県立高知工業高等学校
渡邊昭夫 高知県立日高特別支援学校

団体

高知県立春野高等学校 P T A
高知県立宿毛高等学校 P T A

第 1 分科会

子育て、そして親育ち

～言葉の力を磨き、子どもの心の声を聴こう～

講演 1 「子どもの人権」 田部眞樹子

三重県の NPO 活動における「とぎれない子育て支援のシステムづくり」をはじめとする行政との様々な協働事業などから地域で暮らす人たちと、子どもを主体にした活動を行ってきた経験を語りました。

講演 2 「想い繋げるコミュニケーション」 岩崎由純

アメリカ在学中「アスレチックトレーナー」として、スポーツの現場で人を元気づける声掛けであるペップトークの迫力・想い・魅力を体感した経験から、ペップトークの重要性や実効性について紹介するとともに、コミュニケーションの意義などについて語りました。

第 2 分科会

実力発揮のコツ

～無名公立高校 2 校を甲子園に導いた元監督が伝授！～

講演 「実力発揮のコツ」 松葉健司

23 年間三重県の県立高校で野球部の監督を務める中で、生徒の能力や実力を発揮させるのは「集中力」であることに行き着く。これらの経験について熱く語りました。また、講演のあとは、「学校で育みたい力」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

第 3 分科会

AI 時代における Well-being なキャリアデザイン

～思春期における感情・感動経験の重要性～

講演 「AI 時代における Well-being なキャリアデザイン」 国友 尚

①自身の青少年期から今に至るまでの「進路・キャリア」で抱いていた葛藤 ②親として自らの子育てで大切にしていること ③AI 時代における Well-being なキャリアデザインについて それぞれの視点から個性的な実体験を通じて、全国から会場に集まる PTA 関係者に伝えました。

講演の後は、異なる経歴のパネラーとともに協議を盛上げました。

第 4 分科会

Let's PTA!

～これからの P T A 活動を考える～

講演 聞かせて！レモンさん！「持続可能なハッピー PTA！」 レモンさん（山本シュウさん）

難しい時代を迎えている P T A 活動にこれからどう取り組むのかに様々な気づきやヒントを見つけ、元気がでる講演でした。

講演の後は、地元三重県の P T A 会長 2 名とともにパネルディスカッションで盛り上がりしました。

記念講演

演題 「尊厳は明日の力」
～壁を開ける手中の鍵～

中島 伸子 氏

井村屋株式会社代表取締役 CEO

①井村屋グループの紹介 ②尊厳は明日の力「人が繋ぐ歴史」 ③壁の鍵「いつも手中に」という 3 つの視点から自らの経験や会社経営の苦難から大切にすべきものや企業人として学んできたことを熱く語りました。



トヨタ産業技術記念館に立ち寄りました。見ごたえ十分！



三重県立相可高校食物調理科のお弁当をゲットしました 本格的！

第 2 回研修会開催

【 10/18(土) 】

予告

演題

江戸の教育力

～徳川の平和(パクストクガワーナ)と江戸のリテラシー～

講師のプロフィール



1953 年東京都生まれ。2001 年より東京学芸大学教授。2016 年 4 月～2018 年 3 月東京学芸大学副学長を務める。2024 年 4 月より静岡市歴史博物館館長。『るろうに剣心』2012 年、2014 年)『拓植坂の仇討』(2014 年)『新選組』(2004 年)『八重の桜』(2013 年)『花燃ゆ』(2015 年)『西郷どん』(2018 年) など数多くの映画や大河ドラマの時代考証も手がけている。主な著書 『新選組－最後の武士の実像－』(中公新書) 『江戸の教育力－近代日本の知的基盤－』(東京学芸大学出版会)、『敗者の日本史 15・近世日本の勝者と敗者』(吉川弘文館) など多数。